



①空いた時間はジムで身体を鍛えて。②朝7時から入れる大浴場。③個別仕様のパウダールーム。④露天感覚のジャグジー。⑤修理もやってくれる自転車屋さんもあるのが便利。⑥コンビニは、もはや学生たちの必需“店”。⑦こぢんまりとした自分サイズの部屋が心地良い。

# 学生を呼び込む次世代型大学寮は、まるで都会のシティホテルのようだった!



少子化で定員に満たない大学が増えています。しかし、そのような大学は、実は、前世代的な大学像に凝り固まっているからではないでしょうか。質実剛健に異論はありません。ただしかし学生たちのニーズは多様化しています。そういうニーズをカタチにしたのが、この度完成した拓殖大学のカレッジハウス扶桑。さっそくその魅力に迫ってみましょう。>>>



## 次世代型大学寮の姿は、親世代の想像を超える人気の住まい

親世代が考える大学の寮は、決してきれいとは言えない印象で、月日が経ち老朽化していると思われるのでは。また現在でもそのような大学寮は多いと思われます。しかし最新の大学寮は、もはや寮と呼ぶには似つかわしくない雰囲気を出しています。

2012年4月にオープンしたばかりの拓殖大学のカレッジハウス扶桑がそう。入り口にはフランスの街角を思わせるオープンなカフェレストラン「グランエターナカフェ」があり、夜になると外に飾られたイルミネーションとカフェ室内の暖かな光のコントラストが美しく輝く。部活や授業が終わったあとの学生たちは、このカフェに集い、談笑し、お互いの親睦を深める毎日です。

## 充実した大学時代を支える快適な生活空間

学生が大学生時代に学ぶことは、専門課程の科目は当然のこと、ほかにサークルに部活、そしてなにより人との交流で生まれる人間関係が最大のものです。しかしそのために必要なことはそれらを支える環境です。安心して勉学に打ち込み、生活を楽しめる空間、安全で便利な住まい。遠く離れた親御さんが安心できる食事環境も大切です。

カレッジハウス扶桑は、それらすべてを提供していると言っても過言ではありません。

ません。もっとも重要なセキュリティは万全。管理人が常駐する管理人室横のメインゲートは専用カードキーが、各棟に入るのにもキーが必要です。そして居室には暗証番号式のキーが入ります。いつでも使えるコンビニエンスストアは寮内にあり、健康に欠かせない運動は専用のジムが気軽に利用できます。疲れた身体を癒す大浴場にはサウナはもとよりジャグジーまで設置され、外の空気に触れながらゆったりとしたときを過ごすことができます。

居室はもちろん個室。勉強に集中できる空間はしっかり整っています。わからないときは友人の部屋を訪れて訊けるのも大学寮のメリットでしょう。昔とは隔世の感。ときに子どもにとつて賢沢では、とおっしゃる親族方もいらっしゃるようですが、なにごとでも重考をすれば、これら環境がもつとも重要だということがわかります。

## オープンキャンパスでも最新の大学寮は高校生の人気の的

大学が驚いたのは、オープンキャンパスに訪れた高校生たちが口々に「この寮に入りたい!」と言ったこと。学部や授業内容への魅力が一番と語ってほしいところですが、そこは正直な高校生。大学関係者は苦笑いです。

コミュニケーションの場として大学寮が果たす役割は決して小さいものではありません。最新の大学寮が大学生活の成功を約束してくれます。

(写真上)学生で賑わう夜の『グランエターナカフェ』。窓の外にはきれいなイルミネーションが。(写真右)共用部の電気は、寮の上に設置された太陽光パネルで発電されている。





**本当にそんなことができるのか？  
コミュニティ創成宣言！**



拓殖大学学生生活部  
八王子学生生活課  
課長 中洞 三雄氏

当初、この規模で入寮学生が集まるかが、懸念材料でした。親としては大学寮だと安心ですが、学生にとってキャンパス内の寮に入居することは極力敬遠したい。ですから400名規模は無理だと。

しかしジェイ・エス・ビーの岡社長は「入ります。私もここにコミュニティを創りたいのです」とおっしゃる。

これまで学生寮は、門限があり、食事が出て、入寮の規則があれば、それでいいと思っていましたが……。

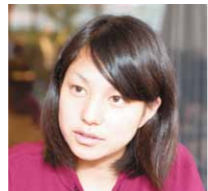
我々の懸念が杞憂だとわ

かったのは入寮者を募集してすぐに満室になったとき。驚きました。

この寮はジェイ・エス・ビーと拓殖大学が期間30年の建物譲渡特約付定期借地権契約を締結し、ジェイ・エス・ビーが建物の建設および寮・付帯設備の運営管理をし、30年後に無償で大学に譲渡する、という方法で建てられました。大学としては建設費がかからずリスクが少ないので、進めたのですが、こんなにうまくいくとは予想外でした。

私たちも学生も皆が満足です。この寮があれば、地方の学生を多く呼べます。学生たちが安心・安全・快適な環境のなかで勉学に励める。この両親も大満足です。

**不満はまったくありません！  
ジムもレストランも大満足。**



拓殖大学政経学部  
経済学科3年  
森野 ありささん

私は女子バスケット部に所属しているんですが、この寮には部員が多いので、まるで合宿みたいですよ(笑)。でもすごく住み心地がいいですね。毎朝8時から9時まで体育館で練習があるのですが、練習が終わって寮に帰ってきてお風呂に入って学校に行っています。

授業は4時半に終わって夜9時まで、また練習です。そのあと食事して、寝るまで友達と話をしていますね。

以前は一人暮らしだったのですが、この寮に引っ越してきてから、時間も節約でき

て、食事もレストランで食べられるので快適そのものです。前は自分で作っていたので、これだけでも両親はものすごく安心したようです。それに加えて毎月の支払いが減ったと喜んでいました。

休みの日は図書館に行ったり本を読んだりDVDを借りたりして楽しんでいます。あとジムもよく利用しています。昔は1回500円の公共施設を利用していたのですが、ここは無料で夜10時半まで使えるんです。

私は、この寮すべてに満足していますね。あ、たった一つだけ。門限が夜0時なんです。が、せめて1時までにしてくれれば、もっと新宿で遊べるのに、とときどき思います。が、それは贅沢ですね(笑)。

**さまざまな機会が  
コミュニティ創出を支える**

カレッジハウス扶桑に入居しているのは日本人だけではありません。世界中からの留学生も一緒に暮らしています。だから寮内の説明書きやグラウンターナカフェのメニューなどすべて英語も併記。外国語が話せるコンシェルジュも常駐し、留学生にも快適な環境を提供しています。

また、寮生たちが国際化に対応できるように用意されているのが、週4日、無料で提供されている外国語レッスン。英語、ドイツ語、ポルトガル語を気軽に学ぶことができます。先生はポルトガル出身の三宅晴美ディアナさん。寮生はレッスン以外でも彼女と食事をいっしょにするなどして会話を楽しんでいます。

**近隣の人も人気のレストラン  
「グラウンターナカフェ」**

フランスでは、街のカフェごとに多くの文化人、アーティスト、学生や知識人が集い、さまざまな会話を楽しんでいる。そのカフェを中心にコミュニティが創られています。

カレッジハウス扶桑のグラウンターナカフェも食事をするだけではなくコミュニティの場にしてほしいとの思いで

造られました。そして、ここに集うのは学生や先生に加え、近隣に住む一般の方々も。近隣のみならずよくいらつしやうて食事をし、ゆったりと過ごされているそうです。まさに大学と近隣のみならずとつながる場も、次世代型大学寮は提供しているのです。



- ① 大勢の学生たちで賑わうカフェのランチタイム。
- ② レストランではときにピアノコンサートが。
- ③ まるでチェーン店のカフェ。
- ④ 朝と夜は管理栄養士がカロリー計算したメニューが日替わりで提供される。
- ⑤ 豊富なメニューはすべて英語が併記。
- ⑥ 集中して勉強したい時は談話室で。
- ⑦ 広々とした明るいロビー。
- ⑧ 楽しそうなディアナ先生のドイツ語レッスン。

志は世界へ!

**拓殖大学**  
Takushoku University

学部/商学部 政経学部 外国語学部 国際学部 工学部  
大学院/経済学研究科 商学研究科 工学研究科  
言語教育研究科 国際協力学研究科  
地方政治行政研究科 留学生別科

●お問い合わせ  
総合企画部広報室 TEL 03-3947-7160 FAX 03-3947-7812

学生マンションから、共生創造企業へ。

**UniLife 株式会社 ジェイ・エス・ビー**  
ジェイ・エス・ビーグループ

学生会館・学生寮の企画開発及び運営管理業務のお問合せはコチラ

京都本社 京都市下京区因幡堂町655番地 東京支社 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー16F

**075-341-0111 03-3344-3228**

●札幌支社 TEL.011-737-3611 ●大阪支社 TEL.06-7650-7107  
●仙台支社 TEL.022-223-0788 ●岡山支社 TEL.086-251-1155  
●名古屋支社 TEL.052-452-3455 ●福岡支社 TEL.092-847-9488

会社案内サイト <http://www.jsb.co.jp/> JSB 検索